

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 **23** ヶ国
7,179 台
2018年10月現在

あなたの
サポートを
求めています

世界の肢体不自由の子どもたちに動ける喜びを。



提供する

- 不要になった子ども用車いすを首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平3-7-13 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円かかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

多摩包装工業株式会社
羽村市緑ヶ丘5-10-5
(青梅線羽村駅から12分)

毎月第3日曜日
kaigaikurumaisu.org
詳細はHPで



ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>

発行元 / 海外に子ども用車椅子を送る会 東京都福生市加美平3-7-13 TEL042-553-2342



ネパール・ポカラの子ども達へ 90台をお届けしました

7月初めに90台を載せ出港したコンテナはインド経由で8月末にネパールポカラに到着しました。現地団体CBRS Pokharaは永年にわたる社会福祉活動の実績をもっていますが、現地で進む連邦制への体制変化や法制度の運用見直しのなか本年も無償支援物資の輸入では様々な困難があったようです。同団体を通しては2017年95台に続き計185台、同国の子ども達には累計で400台超をお届けしたことになります。

9月からポカラ市、近郊の郡部に配送が進み、10月中には大部分が子ども達に届けられました。現地で受け取った子ども達やスタッフの笑顔をお届けします。



車椅子、ウオーカーなどを受け取った子ども達や現地スタッフの様子。赤い頑丈なウオーカーを試す障害をもつスタッフは、小さな時にこのようなウオーカーを使うチャンスがあれば、本当に助かったのにとメッセージを伝えてくれました。

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート

2018年11月 第20号



車椅子を積載したコンテナはインド東部コルカタ港からヒマラヤ連峰を望むポカラへ陸路運ばれます。コンテナはクレーンで地面に降ろされ車椅子を取り出します。



街なかの広場で荷卸しされた車椅子は団体が保有する10年モノのジープで団体事務所へ運ばれ保管されます。



CBRSPokhara代表者Krishnaさんです。同団体はポカラ事務所7名の常駐スタッフで障害者児、女性、貧困者支援を行なっています。



エチオピア

エチオピアの 障害のある子どもたちへ

2018年7月 90台

エチオピアへの子ども用車椅子90台の贈呈式は、アジス・アベバから北北西に350km離れたバハル・ダール市にあるチェシャ財団の拠点施設で開催されました。5月の90台の贈呈式に続いて今年2回目です。当日の会場には、チェシャ財団の本部とバハル・ダール地区責任者及びスタッフが揃い、エチオピア政府の社会労働福祉局のアレムネ・モラ氏と日本大使館からは板倉二等書記官が出席してくれました。車椅子を受け取る子どもとその家族など60名程が参加して盛大に行われました。



(左)子どもの体格に合わせてチェシャのスタッフが車椅子を選びます。

(中)初めて車椅子に乗ってうれしそうなお子さんです。

(右)会場が手狭で入り切れない家族が外で待ちます。



車椅子を届けた家庭を訪問すると、どの家族も大変喜んでいました。子どもたちの笑顔が印象的です。最後に記念撮影しました。